

■コメント

1. インフルエンザ

定点当たり6.70人と第52週からやや減少し、注意報レベル(定点当たり10.0人)を下回りましたが、流行は続いています。

第1週の年齢層別報告数(5歳間隔)は、第52週と比較すると、小中学生が主である5～9歳、および10～14歳の年齢層は大きく減少しましたが(198人→69人)、冬休みは終わり学校が始まっていますので、今後再び増加する可能性があります。

また、15歳以上はほぼ横ばいで推移しています(117人→113人)。これまでの報告数が比較的少ない、小中学生以外の年齢層の発生動向にも注意が必要です。

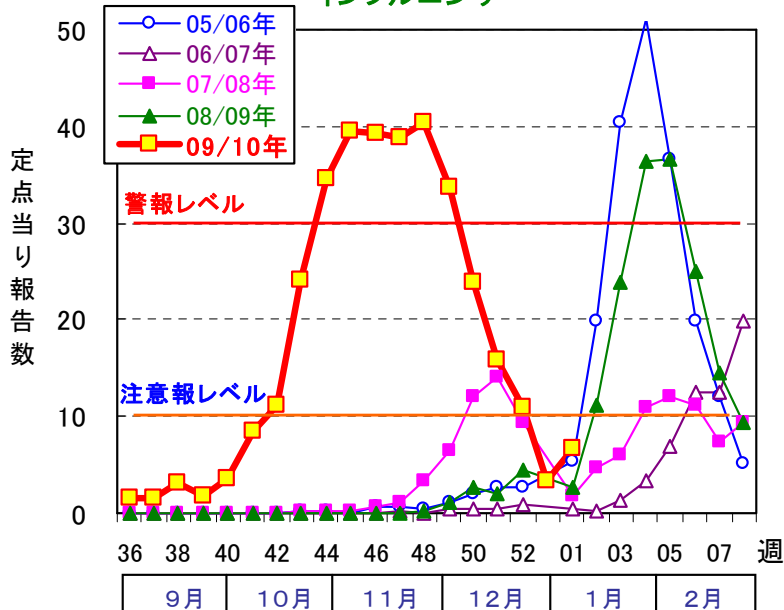
2. RSウイルス感染症

定点当たり1.79人と第52週からやや減少しましたが、多い状態が続いています。

3. 感染性胃腸炎

定点当たり11.7人と第52週からやや増加しています。安芸区44.0人と特に多く、佐伯区12.3人となっています。

インフルエンザ



(注) 2009年第53週は、定点医療機関の年末年始休診のため報告数が少なくなっており、第1週の各疾患の増減の評価及び「定点把握感染症報告状況」(下表)の発生記号の表示は、前々週(2009年第52週)との比較で行っています。

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年間(注)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年間(注)	発生記号
インフルエンザ	248	6.70	2.09	↗	ヘルパンギーナ	-	-	0.01	□
咽頭結膜熱	4	0.17	0.22	□	流行性耳下腺炎	23	0.96	0.94	↗
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	10	0.42	0.77	↗	RSウイルス感染症	43	1.79	0.40	↗
感染性胃腸炎	280	11.67	10.75	↗	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	□
水痘	48	2.00	2.44	↗	流行性角結膜炎	7	0.88	0.73	□
手足口病	5	0.21	0.07	□	細菌性髄膜炎	-	-	-	□
伝染性紅斑	3	0.13	0.09	□	無菌性髄膜炎	-	-	0.03	□
突発性発しん	13	0.54	0.47	□	マイコプラズマ肺炎	2	0.29	0.31	□
百日咳	10	0.42	0.02	□	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	□

急増減 ↑ ↓ 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗ ↘ 前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減

微増減 ↖ ↕ 前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減

横ばい ⇨ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当り)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累積	備考
2	結核	8	8	男性(10歳代)・1人、女性(30歳代)・1人、女性(50歳代)・1人、女性(70歳代)・1人、女性(80歳代)・3人、男性(90歳代)・1人

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	RSウイル ス感 染症	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜 炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズ マ肺 炎	クラミ ジア肺 炎
報告数	広島市	第50週	882	10	22	154	41	4	1	13	5	-	28	39	-	8	1	-	2	-
		第51週	587	6	18	196	37	4	1	17	9	-	25	49	-	4	-	-	-	-
		第52週	408	3	22	218	41	2	1	12	9	1	29	71	-	1	1	-	-	-
		第53週	120	1	4	180	25	1	3	3	2	-	16	30	-	2	-	-	2	-
		第1週	248	4	10	280	48	5	3	13	10	-	23	43	-	7	-	-	2	-
定点当り	広島市	第50週	23.84	0.42	0.92	6.42	1.71	0.17	0.04	0.54	0.21	-	1.17	1.63	-	1.00	0.14	-	0.29	-
		第51週	15.86	0.25	0.75	8.17	1.54	0.17	0.04	0.71	0.38	-	1.04	2.04	-	0.50	-	-	-	-
		第52週	11.03	0.13	0.92	9.08	1.71	0.08	0.04	0.50	0.38	0.04	1.21	2.96	-	0.13	0.14	-	-	-
		第53週	3.24	0.04	0.17	7.50	1.04	0.04	0.13	0.13	0.08	-	0.67	1.25	-	0.25	-	-	0.29	-
		第1週	6.70	0.17	0.42	11.67	2.00	0.21	0.13	0.54	0.42	-	0.96	1.79	-	0.88	-	-	0.29	-
	全国	第52週	19.63	0.14	1.02	7.39	1.47	0.19	0.07	0.49	0.02	0.05	0.75	1.16	0.02	0.38	0.03	0.02	0.21	0.02
		第53週	10.22	0.09	0.51	4.41	1.10	0.08	0.03	0.28	0.01	0.02	0.46	0.90	0.01	0.16	0.02	0.01	0.16	0.01

■新たに判明した病原体検出状況(新型インフルエンザを除く)

診断名	患者年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	3	男	2009/12/07	咽頭拭い液	RSウイルス
インフルエンザ	1	女	2009/12/29	咽頭拭い液	RSウイルス
インフルエンザ	1	男	2009/12/26	咽頭拭い液	RSウイルス
インフルエンザ	1	男	2009/12/26	糞便	ノロウイルスG2群
咽頭結膜熱	1	女	2009/12/03	咽頭拭い液	RSウイルス
感染性胃腸炎	2	女	2009/12/05	糞便	ノロウイルスG2群
RSウイルス感染症	0	男	2009/11/30	咽頭拭い液	RSウイルス
その他の疾患(不明熱/熱性疾患)	0	男	2009/12/02	鼻汁(拭い液)	RSウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

広島市衛生研究所の検査結果では、第1週は6人からインフルエンザウイルスが検出され、すべて新型インフルエンザウイルスでした。検出状況等の詳細は以下のホームページを参照してください。

http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/kan_center/rinzi/inf/inf_rinzi_gr.htm

■広島市における新型インフルエンザ発生状況(PCR検査確定例)

2010年 第1週

サーベイランスの種類	0-9歳	10-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	合 計
病原体サーベイランス	3		1	1		1			6
入院サーベイランス									
その他									
合 計	3		1	1		1			6

累計(2009年7月24日以降)

サーベイランスの種類	0-9歳	10-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	合 計
病原体サーベイランス	97	128	37	19	10	5	3	4	303
入院サーベイランス	32	10	1	3	1	1	1		49
その他	4	5	3						12
合 計	133	143	41	22	11	6	4	4	364

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.jp

2010年第1週(1月4日～1月10日)